
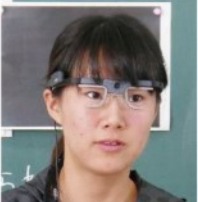
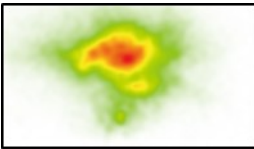
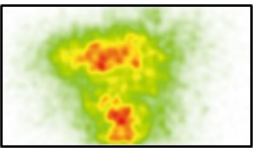


一人称授業映像記録を活用した授業実践能力育成支援

技術分野分類 複合領域 科学教育・教育工学 1802 教育工学

技術キーワード 教師教育、授業、教授学習支援システム

産業分類 O-81：学校教育

| | | |
|-------------------|--------------------------------|--|
| 内 容 | 概 要 | 映像記録の特性を生かした授業研究の方法を追究し、「授業の多元的な記録・分析・構成方法についての基礎的研究」を共同研究として遂行してきた。2013 年には多元的な記録の要素として教師の注視点を記録できるアイトラッキングカメラを活用し「教師視点の映像記録」を加えてきた。そうして得られた映像記録の分析と構成方法について検討を継続している。 |
| | 従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性) | これまでの研究でも、「受講生全体を見渡すこと」の授業スキルの重要性を明らかにしていたが、今回、「生徒役と目を合わせること」「教室全体を満遍なく見ること」「手元の資料に目を落とさない」等、指導・助言がなされていたことを、実習生自身が、自身の一人称映像を個々のペースで視聴できる環境を整備することで、自身の改善点及び指導教師及び同僚受講生からの改善意見を主体的に受容することを援助できた。今後、注視点の記録率の向上をはかるとともに、事例考察を積み上げて、教育実習生共通の一人称映像の特性を抽出し、授業のカリキュラムに反映させていくことを目指している。一人称視点の映像記録からのヒートマップ（主にどこを見ているかの分布）の抽出例である。これまで、一般に言われている視野の広さ、実習生が手元の資料や提示装置に視線が向いているところが表出している。 |
| | 本技術の 有用性 | 今後、教育実習の事前指導及び初任者教員の指導等で導入することを通して、授業実践育成支援に資することができると期待している。 |
| 関連情報 (図・表・写真等) | |   <p>図1 授業映像記録 (一人称視点を組み込んだ)</p> <p>図2 アイトラッキングカメラ (研究協力者・卒業生)</p>   <p>図3 視線分布(熟練者)</p> <p>図4 視線分布(学生)</p> |
| 適用可能製品 | | |
| 技術 シーズ 保有者 | 氏名 所属・役職 | 平山 勉 教授 名城大学 教職センター |
| 技術 シーズ 照会先 | 窓口 TEL/FAX e-mail | 名城大学 学術研究支援センター TEL 052-838-2036 FAX 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp |

知的財産

試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2023 年 2 月 10 日